

対象地域：埼玉県

再生課題：豊かな生態系を育む湿地環境の再生



事務局：国土交通省関東地方整備局
荒川上流河川事務所
対象地域：埼玉県（荒川中流域の太郎右衛門橋下流約4km区間）
設立日：H15.7.5
全体構想作成日：H16.3.31
H18.5.28
R2.2.6（改訂）
実施計画作成日：H23.1.28
(R4.3 現在)

あらかわ たろう えもん ちくし ぜんさい せいきょう ぎ かい 荒川太郎右衛門地区自然再生協議会

再生目標 昭和初期までの荒川の流路であった旧流路と周辺において、荒川太郎右衛門地区自然再生地固有の豊かな生態系を育む湿地環境の再生を目指す。



本地域は、幹線流路延長173km、流域面積2,940km²の荒川の中流域に位置しています。かつて存在していた旧流路を中心とした湿地環境が現在も一部残っている約4km区間において、固有の豊かな生態系を育む湿地環境の再生を目指します。

主に、乾燥化が進む旧流路や周辺の湿地環境の保全・再生、過去に確認された固有かつ多様な生きものが住めるような環境の再生を実施し、多様な水域・水際環境を形成し、周辺地域とのエコロジカル・ネットワークの核となるよう、自然環境の質的向上を目指し、将来にわたり治水面からもプラスになるような自然再生事業とします。

ここに注目！ 生態系ネットワークも意識した活動の推進

本地域の近傍にある江川トラスト地やミツ又沼ビオトープなどの豊かな環境が保全されている場所と共同で、一般向けの見学会を行っています。また、荒川の美しい原風景の再生に向け、江川トラスト地に自生するサクラソウの移植なども実施し、生態系ネットワークを意識した取り組みを進めています。



イメージキャラクター「たろえもん」
埼玉県内の高校生対象の公募で選定

自然再生の手法

- ▶ 旧流路の保全・再生
- ▶ 湿地及び止水環境の拡大
- ▶ 河畔林の保全・再生等
- ▶ 維持管理・モニタリング・環境学習等



移植したハンノキに飛来したミドリシジミ



小学生による植栽イベント



サクラソウ

関連ホームページ 荒川太郎右衛門地区自然再生協議会：<http://taroemon2021.html.xdomain.jp/index.html>

対象地域：静岡県

再生課題：湿地生態系の保全・再生 良好な水環境の再生



事務局：静岡県静岡土木事務所
静岡市役所
対象地域：静岡県静岡市麻機遊水地
(第1工区、第2-1工区、第3工区、第4工区の総面積約160ha)
設立日：H16.1.29
全体構想作成日：H19.3.1
実施計画作成日：H20.12.8
(R4.3 現在)

あさはた ゆう すい ち ほ ぜん かつ よう すい しん きょう ぎ かい 麻機遊水地保全活用推進協議会

再生目標 麻機遊水地に昔から暮らしてきた多様な生きものたちが、遊水地で生息・生育できる環境を再生していくことを目指す。



麻機遊水地は静岡扇状地平野の北縁に位置し、標高わずから7m前後の低湿沖積地帯です。全国最大級のミズアオイの自生地として、また、タコノアシなどの絶滅危惧種が多いことから、「生物多様性の観点から重要度の高い湿地」に選定されています。

しかし、現在は植生遷移や外来種の移入・異常繁殖により在来種や絶滅危惧種などの生息・生育環境は失われ、また、雑排水の流入による水質悪化などに起因して、生態系のバランスが崩れ始めています。

そこで、本協議会では、「生命にぎわうわ（環・和・輪）の湿地麻機」を目指し、麻機の風土に刻まれた人と自然との関係を手がかりに、自然再生に取り組んでいます。

ここに注目！ 学校と協力・連携した保全活動

対象区域内での希少種等の保全活動だけでなく、隣接する学校で希少種の育成活動や埋土種子の発芽実験を行い、子どもたちの環境学習や育成した希少種を対象区域に里帰りさせることにより、対象区域内の希少種の維持や拡大に努めています。



ミズアオイ



タコノアシ

自然再生の手法

- ▶ 水路の再生
- ▶ 湿地環境の再生
- ▶ 多様性のある池沼部の再生
- ▶ 外来種の駆除
- ▶ 人と自然との良好な関わりづくり



ハス

関連ホームページ 麻機遊水地保全活用協議会：<https://asabata.org>